# そらぷちキッズキャンプ

solapuli kids' camp

ウィンター家族キャンプ 2017

## 難病とたたかう子どものための
## 医療ケア付キャンプ場

in 北海道滝川市丸加高原

# キャンプ参加者について

## これまでの参加者（参加者数、居住地、病種、感想など）

小児がん（急性リンパ性白血病、脳腫瘍など）とたたかう子どもや、小児外科系疾患（二分脊椎症、短腸症候群、ヒルシュスプルング病類縁疾患など）を持つ子ども、その他、神経・筋疾患を持つ子ども等が、キャンプに参加しています。これまで2005～2016年度の12年間で、全国から660名の難病とたたかう子どもと、その家族を無料で招待することができました。

### 参加者の感想



キャンパーの笑顔。
現在はボランティアで活躍中。

**子どもの感想**

病気でも、キャンプに行けてみんなと遊べて楽しいこともあるんだ。

こんなに楽しいことがあったら、この先変わるんじゃないかなと思う。

家に帰っても、一週間くらいキャンプのことしゃべらなかった。もったいない気がして。

再発して、再入院して、いやだったけど、またそらぷち行けるのかなあ。

一人じゃないんだ仲間がいるんだと初めて感じることができた。

**親の感想**

親子ともども、あきらめていたことが出来て、自信になった。これからは、出来ることをどんどんさせたいと思った。

病児、きょうだい、両親、一緒に楽しめたので、家族同士のいろいろな表情を発見できた。あらためて「家族一緒」が一番楽しいと感じた。

普段の生活に制限がある中で大自然で過ごしたキャンプは羽ばたいたような気持だった。

私たち家族にとってこのキャンプ地は、新しい生活のスタートになった。

**キャンプ参加者の居住地**
（2005年～2016年度）



### 全国からそらぷちキッズキャンプへの移動について

そらぷちキッズキャンプは北海道にあるため、ほとんどの参加者が、飛行機に搭乗し移動することになります。この飛行機による移動は、ANA グループがサポートをしてくださっていて、事前の綿密な情報交換により、参加者の状態にあわせた、空港での誘導、休憩場所の確保、飛行機の乗り降りなど、快適に飛行機や空港を利用することができるよう、様々なサポートをいただいています。

ANAのパイロットとCAさんと一緒に特別に記念撮影

# 「そらぷちキッズキャンプ」の特徴

## ■ 事前説明会・家庭訪問

キャンプの募集を開始してから参加に至る間の情報交換を大切にしています。子どもだけが参加するキッズキャンプでは必ず事前説明会を開催、家族単位で参加するキャンプでも、状況によって個別の家庭訪問を実施しています。情報交換はキャンプ場に常駐する看護師が行います。

## ■ キャンププログラム

子どもたちや家族の状態･ニーズにあわせて、様々なアクティビティを準備しています。北海道の大自然を活かした、自然とふれあう、仲間と楽しむ、自分にチャレンジする、様々なプログラムを提供します。専門資格をもつスタッフが準備・実施する乗馬・馬車搭乗、森あそび（ツリーハウス）などのプログラムがあります。

## ■ ボランティア

キャンプには、事前に研修を受けたボランティアが参加しています。大学生や主婦、キャンプの専門家、栄養士、医師や看護師など様々な人たちが、子どもたちの「力になりたい」と集まっています。ボランティアとの交流もキャンプの魅力の1つです。キャンパーからボランティアになった若者もいます。

## ■ 食事

北海道の旬の食材を使った、子どもたちが選べる食事、子どもたちと一緒につくる食事など、「食事」はキャンプの楽しみのひとつになっています。専門のスタッフが常駐し、食物アレルギーや食事制限、ニーズに合う食事形態（きざみ、ペースト）などにも対応した食事メニューを提供することができます。

## ■ 医療支援

キャンプ中は、専門の医師、看護師が常駐し、キャンプでも日常の医療ケアが継続できるようにサポートします。「ほけんしつ」と呼んでいる専用の建物もあり、集団から離れての休息や、特別な処置が必要になった場合にも使います。また滝川市立病院と連携し、緊急時対応ができる体制を整えています。

## ■ 施設・設備

キャンプ場内の施設・設備は、訪れる子どもたちのことを考え、バリアフリー･ユニバーサルデザインの視点で、設計･整備されています。今後も、子どもたちの意見を聞いて改善し、使いやすい施設にしていきたいと考えています。森の中には、車いすのままで行けるツリーハウス（木の上の家）もあります。

# キャンプサイト・施設の紹介

そらぷちキッズキャンプは、大空と豊かな自然に囲まれた北海道滝川市丸加高原にあります。丸加高原は標高２８６メートルの丸加山のすそ野に広がる丘陵地で、キャンプ場は約16ヘクタールの草地と森です。宿泊棟、食堂・浴室棟等の施設群があり、敷地の 2/3を占める森には、ツリーハウスや散策路など自然を満喫できるよう整備されています。

## summer

そらぷちの丘

広　場

きつつきの森

## winter

ほたるの森

広場周辺

そらぷちの森(森全体及び基盤整備)・
事務棟(森の案内所)については、高原基金の森
(高原慶一朗氏)の協力をいただきました。

## 施設の建設にあたり、法人・個人・団体からご支援をいただきました。

2009 年に「事務棟（森の案内所）」が建設され、2010 年には「森のほけんしつ（医療棟）」、2012 年には「食堂＆浴室棟」と「宿泊棟」など主要施設群が完成しました。森エリアには市民ボランティアや民間企業などの協力によりツリーハウスや木道などが整備され、今後もバリアフリー木道や遊びの仕掛けなどをつくる予定です。




### ②食堂&浴室棟（森のレストラン） 650㎡

食堂ホール、厨房、大浴場

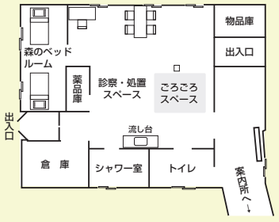
【食　堂】100 人が集える食堂ホールです。食事時間以外は、室内遊び場としても利用します。
【大浴場】森と空をテーマにした2つの浴場があります。キャンプの仲間と一緒に入ることができます。

協力：民間寄付金等

### ③森のほけんしつ 180㎡

診察・処置スペース　静養室（ベッドルーム）

医療者が常駐し、キャンプ中は医療ケアや服薬の際に使います。体調が悪くなったら、診察・静養することもできます。



協力：故横山清七初代会長親族、北門信用金庫、
日本チェーンドラッグストア協会、滝川市医師会 ほか

### ①宿泊棟（森のコテージ） 寝室（2段ベッド）、リビング、浴室　240㎡ × 2棟

36人が泊まれるコテージです。寝室には木の2段ベッドがあり、1段目は車いすユーザーが使いやすい高さに設定されています。中央にある和室（畳の小上がり）で寝転んだり、リビングでゲームをしながら遊ぶことができます。

協力：公益財団法人日本財団（宿泊棟1）、一般財団法人日本メイスン財団（宿泊棟2）

### ④ツリーハウス

木の上にある家

10人程度収容可能

クリエイターの小林崇さんと協働で製作した、4本の大きな木に支えられたツリーハウスです。車いすのままで利用でき、森とひとつになった感覚になります。

協力：一般財団法人東京マラソン財団、公益財団法人太陽財団 ほか

# 2016 年度　事業概要（報告）

2016 年度は、計 10 回のキャンプ（夏季 7 回、冬季 3 回）を実施し、難病とたたかう子どもと家族に対し、かけがえのない時間を提供することができました。安全で快適なキャンプを実施できるよう専用施設の運営・維持管理を行いました。

## ■ 難病の子どもと家族が参加するキャンプの実施

全国各地から以下のキャンプに合計 264 名が参加。

**6/17 ～ 20　レスパイトキャンプ　3 泊 4 日**

重い病気や障がいをもつ子どもと家族　1 家族 2 名
（居住地域：岩手 1 家族
国立がん研究センター中央病院 1 名の主治医同行）

**7/29 ～ 8/1　キッズキャンプ　3 泊 4 日**

小児がんとたたかう子ども（寛解期、経験者）26 名
（スマートムンストンキャンプと共催　東京･大阪･福岡から参加）

**8/5 ～ 8　キッズキャンプ　3 泊 4 日**

小児がんとたたかう子ども（寛解期）18 名
（居住地域：岡山 5、香川 1、島根 1、千葉 2、東京 1、
埼玉 1、神奈川 1、山形 1、宮城 4、北海道 1 名）

**8/19 ～ 22　レスパイトキャンプ　3 泊 4 日**

重い病気や障がいをもつ子どもと家族　4 家族 19 名
（居住地域：東京 3、福島 1 家族
国立国際医療研究センター病院 2 名、聖路加国際病院 1 名、
福島県立医科大学病院 1 名の主治医同行）

**9/3､4　グループキャンプ　日帰り（2 日間）**

滝川市こども発達支援センター利用の子どもと家族
26 家族 86 名（居住地域：滝川市内及び近隣市町村）

**9/22 ～ 25　レスパイトキャンプ　3 泊 4 日**

重い病気や障がいをもつ子どもと家族　2 家族 9 名
（居住地域：栃木 2 家族
レスパイト施設「うりずん」より主治医 他 3 名の同行）

**10/8 ～ 9　グループキャンプ　1 泊 2 日**

医療法人稲生会（札幌）の利用者と家族　3 家族 11 名

**1/27 ～ 30　ファミリーキャンプ　3 泊 4 日**

小児外科・脳神経外科疾患をもつ子どもと家族　5 家族 17 名
（居住地域：千葉 1、東京 2、神奈川 1、京都 1 家族）

**2/12　グループキャンプ　日帰り**

滝川市こども発達支援センターを利用の子どもと家族
14 家族 54 名（居住地域：滝川市内及び近隣市町村）

**2/17 ～ 20　ファミリーキャンプ　3 泊 4 日**

小児がんとたたかう子どもと家族　6 家族 22 名
（居住地域：福島 2、埼玉 1、東京 1、愛知 1、岡山 1 家族）

## ■ ボランティア募集育成・活動調整

「ボランティア研修キャンプ（2 泊 3 日）の実施」

- 5/3 ～ 5　研修参加者 34 名
- 11/4 ～ 6　研修参加者 32 名
- 3/18 ～ 20　研修参加者 32 名

「各種ボランティアの活動調整」

- キャンプボランティア
- 屋外維持管理ボランティア
- 広報 PR ボランティア
- イベントボランティア
- 人形製作ボランティア
  他

ボランティア研修キャンプ

## ■ 広報（普及啓発）事業

- キャンプ場でのイベント開催
  10/10 そらぷちフェスティバル（キャンプ場一般開放）

- 各種イベントでの PR ブース設置
  5/28 ～ 29 コールマンイベント
  8/28 北海道マラソン
  2/23 ～ 26 東京マラソン（沿道応援､交流カフェ運営）
  3/17 ～ 19 日本チェーンドラッグストアショー　他

コールマンイベントブース

そらぷちフェスティバル

- 写真展の開催（10/22 横浜､2 月滝川市内）

写真展＆トークショー

## ■ 調査研究（学会参加他）

- 5/13､14､15　日本小児科学会（札幌）
- 6/16､17　日本重症心身障害学会（札幌）
- 12/15､16､17　日本小児血液・がん学会（東京）

# そらぷちキッズキャンプ・フォトギャラリー2016

撮影：小西貴士（ゴリ）
高橋吉之（よっち）
キャンプ場スタッフ

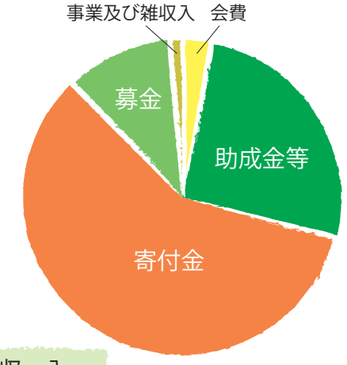
# 2016年度　決算報告および寄付者 / 会員状況

## 会計報告

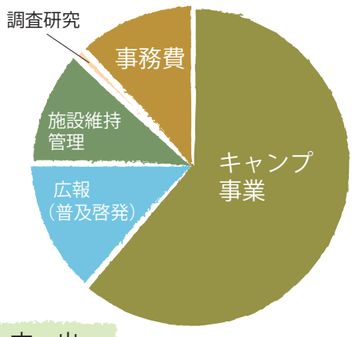
| 【収　入】 | |
|---|---|
| **収入合計** | **146,995,219 円** |
| 会費<br>そらぷち会員数　353 人 | 4,398,000 円 |
| 助成金等 | 38,193,158 円 |
| 寄付金<br>一般寄付者数　2788 人 | 86,539,383 円 |
| 募金 | 16,115,950 円 |
| 事業及び雑収入 | 1,748,728 円 |

| 【支　出】 | |
|---|---|
| **支出合計** | **142,964,415 円** |
| キャンプ事業 | 87,857,603 円 |
| 広報（普及啓発） | 19,793,738 円 |
| 施設維持管理 | 16,862,734 円 |
| 調査研究 | 1,489,525 円 |
| 事務費 | 16,960,815 円 |

### 【収支内訳】




収　入




支　出

## 寄付支援いただいた企業・団体

- Seriousfun Childrens Network（シリアスファン）
- 日本チェーンドラッグストア協会
- 一般財団法人 東京マラソン財団
- 公益財団法人 日本財団
- The Boeing Company（ボーイング）
- 大原小児がん基金
- 株式会社 サッポロドラッグストアー ※
- 株式会社 日本財託
- 株式会社 クスリのマルエ
- 一般財団法人 日本メイスン財団
- 北門信用金庫
- コールマンジャパン 株式会社 ★
- アボットジャパン 株式会社

※印は
ユニ・チャーム株式会社
とのオムツチャリティ
キャンペーンも実施

北海道コカ・コーラボトリング 株式会社
株式会社 ダッドウェイ
ユニバーサル・ビジネス・ソリューションズ 株式会社
株式会社 桑山★
株式会社 シンモク★
MDRT 三井住友海上あいおい会
認定 NPO 法人 ランナーズサポート北海道（北海道マラソンチャリティ）
滝川ロータリークラブ
株式会社 マツオ
公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団
株式会社 グレシステム
アサヒビール 株式会社
空知単板工業 株式会社　チャリティー 100km ウォーク大会
香蘭女学校キリスト教センター
サントリービバレッジサービス 株式会社
西武造園 株式会社★
宗教法人 一心寺★
DCM ホーマック 株式会社★
株式会社 フジテレビジョン★
株式会社 フジファシリティー★
小野薬品工業 株式会社★
有限会社 新田総業★
NPO 法人 北海道ファミリーハウス★
株式会社 メディプロデュース
国際ソロプチミスト茅ケ崎
小樽友の会
空知キャンドル倶楽部
江部乙商工会（そらぷちファーマーズ協働・農産品チャリティ）
シャイアー・ジャパン 株式会社
大原薬品工業 株式会社　従業員一同
東京エレクトロン 株式会社
株式会社　トド・プレス
株式会社　CtoC グループ
シャイアー・ジャパン 株式会社　従業員一同
株式会社 北星
医療法人 圭仁会　佐藤病院
一般社団法人 MDRT 日本会
しののめ信用金庫
そばで夢み隊
学校法人 香蘭女学校
豊長自動車販売 株式会社
株式会社 遠藤波津子美容室
やまざきこども医院
（敬称略）

- 1000万～（円）
- 500万～
- 300万～
- 100万～

★賛助会員

ご支援ありがとうございました！

このほか、多くの企業・団体にご支援をいただきました。

# 公益財団法人そらぷちキッズキャンプ　ご挨拶・役員名簿

当財団は、自然体験を通じて、難病とたたかう子どもたちとその家族の「QOL（生活の質）の向上」や「心のケア」に寄与することを目的としています。具体的には、自然の中で安全に楽しく過ごしてもらうため、特別に配慮されたキャンプ施設や自然体験プログラムを提供します。また地元滝川市立病院の協力のもと、医師や看護師による医療的なバックアップを行います。そして、キャンプに参加した難病の子どもやその家族が「たのしい思い出」「すばらしい仲間」「生きる力」「希望」を得ることを目指しています。

これから更に活動の充実を図ってまいりますので、当財団に対し一層のご理解・ご助力を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人そらぷちキッズキャンプ　代表理事　細谷亮太

### 代表理事　細谷 亮太　プロフィール

１９４８年、山形県生まれ。東北大学医学部卒業後、聖路加国際病院小児科に勤務。小児がんの先端的治療技術の研修のため、米国テキサス大学総合がん研究所M･D･アンダーソン病院に１９７７年より３年間赴任。
聖路加国際病院小児科に復職し、小児科部長、副病院長を歴任。現在は聖路加国際病院・顧問。
（著書）「川の見える病院から ～医者としてできること、できなかったこと～ 」
「小児科病棟の四季」、「医者が泣くということ」、「生きるために、一句」
「命のノート　僕たち、わたしたちの「命」についての12のお話」、「ぼくのいのち」　他

## 公益財団法人そらぷちキッズキャンプ　役員名簿　（2017年12月1日現在）

| 評議員　９名 | | |
|---|---|---|
| 評議員 | 小林　信秋 | （認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク顧問） |
| 評議員 | 鈴木　忠男 | （一般社団法人滝川市医師会顧問・医師） |
| 評議員 | 鈴木　洋之 | （PwCジャパン合同会社顧問・公認会計士） |
| 評議員 | 田村　弘 | （國學院大學北海道短期大学部学長） |
| 評議員 | 藤井　謙和 | （滝川商工会議所会頭） |
| 評議員 | 前田　康吉 | （滝川市長） |
| 評議員 | 正木　烝司 | （株式会社泰正代表取締役社長） |
| 評議員 | 松本　南海雄 | （日本チェーンドラッグストア協会名誉会長） |
| 評議員 | 丸山　健 | （丸山健法律事務所・弁護士） |
| **理事　１１名** | | |
| 代表理事 | 細谷　亮太 | （聖路加国際病院顧問・小児科医） |
| 執行理事 | 松本　守 | （株式会社フジテレビジョン役員待遇特区事業担当･元 国土交通省官房審議官） |
| 理事 | 浅野　房世 | （東京農業大学農学部バイオセラピー学科教授） |
| 理事 | 男澤　伸一 | （一般社団法人滝川市医師会会長・医師） |
| 理事 | 木村　節子 | （東海大学医療技術短期大学小児看護学講師） |
| 理事 | 小林　勝子 | （元 滝川市立病院看護部長） |
| 理事 | 笹川　祐子 | （株式会社イマジンプラス代表取締役社長） |
| 理事 | 佐々木　衿子 | （前 滝川市立病院看護部長） |
| 理事 | 堤　明人 | （滝川市立病院院長・医師） |
| 理事 | 宮本　和俊 | （旭川医科大学病院小児外科科長・小児外科医） |
| 理事 | 山内　康裕 | （滝川市産業振興部観光国際課課長） |
| **監事　２名** | | |
| 監事 | 池田　治男 | （元 北門信用金庫専務理事） |
| 監事 | 宮崎　英彰 | （A・I 税理士法人・税理士） |

# ご支援のお願い

難病とたたかう子どもと家族のための医療ケア付自然体験施設「そらぷちキッズキャンプ」の活動は、多くの皆様からの資金的支援（会費、寄付、物品）と人的支援（ボランティア）によって、支えられています。
ご支援をよろしくお願いします。

## 方法1 寄付金をご提供いただく方法

いつでもいくらからでも受け付けております。お振込み口座は以下です。

| 金融機関名 | 店番 | 口座名 | 種目 | 口座記号・番号 |
|---|---|---|---|---|
| ゆうちょ銀行 | 279 | 公益財団法人そらぷちキッズキャンプ | 当座 | 02770-6-045696 |

※他銀行からゆうちょ銀行へ振り込む場合は、() 内の２項目が必要となります。（店名：二七九（ニナナキユウ）　口座番号：0045696）
※その他口座については、下記までお問い合わせください。

**クレジットカード決済によるご入金もできます。**

ＨＰより１口１,０００円からご入金いただけます。決済システムは、日本財団との協働プロジェクト事業として特定非営利活動法人 CANPAN センターが提供している､CANPAN 決済サービスを利用してクレジットカードを使ったオンラインでの入金ができます。

http://kessai.canpan.info/org/solaputi/

## 方法2 会員として継続的にご支援いただく方法

継続的にご支援をいただける方は、年会費によるご支援をお願いします。
会員登録された方には、活動をお知らせするニュースレター等を郵送いたします。

| | | |
|---|---|---|
| 応援会員（個人・団体） | 一般　1口2千円 | 特別　1口1万円 |
| 賛助会員（企業・法人） | 一般　1口20万円 | 特別 1口50万円 |

※会員期間は、入会日から入会年度の 3/31 まで。お振込みは上記口座。
※上記クレジットカード決済による入金もできます。自動継続も可能です。

## 方法3 物品をご寄贈いただく方法

キャンプに必要となる物品を「ウィッシュリスト」として整理・随時更新しています。
詳しくは、下記キャンプ場までお問い合わせください。

## 方法4 ボランティア登録をしてご支援いただく方法

ホームページからボランティア登録をいただくと、下記種類のボランティア活動について適時お声掛けいたします。まずはご登録をお願いします。

○キャンプのためのボランティア（18 歳以上。事前研修必須。）
○そらぷちの森の維持管理のためのボランティア
○キャンプ場の掃除や布団などセットするボランティア
○イベントや学会等での PR ブース運営のボランティア
○子どもにプレゼントする人形の製作ボランティア
○資料発送などの事務ボランティア　等

## ほか その他の方法として

店頭募金箱設置や広報 PR 支援（講演依頼他）など、いろいろな方法があります。
詳しくは、下記までお問い合わせください。

# お問い合わせ


公益財団法人 そらぷちキッズキャンプ

solaputi kids' camp
a seriousfun camp
founded by paul newman

〒079-0461
北海道滝川市江部乙町丸加高原 4264-1
TEL:0125-75-3200　FAX:0125-75-3211
HP：http://www.solaputi.jp　e-mail：info@solaputi.jp


Copyright © solaputi kids' camp.  All Rights Reserved.